

FUJITSU Retail Solution TeamCAT/mini V3

(Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSB)

取扱説明書

目次

目次	2
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
安全な使用のために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
VCCI 適合基準について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
ハイセイフティ用途への使用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
ウイルス感染にご注意ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
Windows Update について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
事業系の使用済み製品の引取りとリサイクルについてのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
警告表示・警告マークについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
警告表示····································	• 4
	· 4 5
女主上の注息争項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
表記上の約束こと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
正しく使用していただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
長期保官力法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 0 · 6
使用しているマーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 6
1 各部の名称および外観図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
2 最初に行う作業(セットアップ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	12
3.1 電源を入れるには/切るには······	12
3.1.1 電源を入れるには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
3.1.2 電源を切るには 〈<重要〉 ····································	12
3.2 バックアップ電池の状態を確認するには····································	13
3.3 百重を調即9 るには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3.5 DUMP スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
4 有線 LAN について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
5 プリンターの使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
。 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	16
○ 本表直の/月前 6.1 本装置力バー/表示部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
6.2 プリンター部(固定部/可動部)······	16
7 磁気カードリーダーの使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
8 USB コネクターカバーの取り付け方・・・・・	20
9 セキュリティスロットの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
10 設置条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
11 故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
12 付録	24
A 仕様······	24
B 添付品····································	25
C オプション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
D サプライ品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25

はじめに

このたびは、TeamCAT/mini V3(以下、本装置)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本装置を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、本装置が十分に機能を発揮できますよう、正しい取り扱い をお願いいたします。

・Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標です。

・HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とHDMIロゴは、HDMI Licensing LCC の商標です。

・その他、この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全な使用のために

この取扱説明書には、本装置を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本装置を使用す る前に、この取扱説明書を熟読してください。特に、この取扱説明書に記載されている「安全上の注意事項」を よく読み、理解した上で、本装置をご使用ください。

また、この取扱説明書は、本装置の使用中にいつでも参照できるように、大切に保管してください。 弊社は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく、本装置を安全に使用していただくために、細心 の注意を払っております。本装置を使用する際には、この取扱説明書の説明に従ってください。

VCCI 適合基準について

本装置は、クラスA情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことが あります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。 VCCI-A

ハイセイフティ用途への使用について

本装置は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されて いるものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システム における運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度 な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用 途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客 様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本装置を使用しないでくだ さい。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

ウイルス感染にご注意ください

本装置は OS に Windows を使用しており、その OS の脆弱性からウイルスに感染する危険性があります。 システムの運用においては、ウイルスの感染に十分ご注意願います。

Windows Update について

本装置では、出荷時、 2017年3月までの Microsoft 社の Windows 更新プログラム、およびセキュリティ更 新プログラムが適用されています。お客様にて Windows Update を実施した場合、更新プログラムの内容に よっては、OS の動作が変更される可能性があります。 Windows Update を行う場合には、事前検証の上、適用のご検討をお願いします。

事業系の使用済み製品の引取りとリサイクルについてのお願い

装置本体の廃棄について 本装置の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際には マニフェスト伝票(廃棄物管理表)の発行が必要となります。 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社(産業廃棄物収集運搬許可業 者)にて引取りを行います。 お問い合わせ/お申し込み: (<u>http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/recycle/</u>) の製品リサイクルサービスをご参照ください。 当社では 1998 年より、法人・企業のお客様から廃棄される装置を「富士通リサイクルシステム」(有料) にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

警告表示・警告マークについて

この取扱説明書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないよう、警告表示をしています。 また、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して、注意事項 が一目で分かるように配慮しています。警告表示および警告マークは、次のとおりです。

警告表示

▲ 警告	正しくご使用にならない場合に、死亡するまたは負傷を負うことがあり得ることを示し ます。
11111111111111111111111111111111111111	正しくご使用にならない場合に、軽傷または中程度の障害を負うことがあり得ること、 および、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があるこ とを示します。

警告マーク

感電注意	感電する危険性について記述していることを示します。	
企 発火注意	火災や感電の危険性について記述していることを示します。	
一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。	
一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。	
プラグを抜け	コンセントからプラグを抜いて欲しい状況を示します。	

安全上の注意事項

▲ 警告

感電注意 ・ <th> AC アダプターの電源コードを傷つけないでください。感電や火災のおそれがあります。 また、電源コードに傷が付いた際には、使用しないでください。 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。 AC アダプターの入力電源は AC100-240V/50-60Hz をご使用ください。 異なる電圧を使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。 本装置および AC アダプターに対して、濡れた手での操作や飲料水などの液体を掛けること、 クリップなどの異物を落下させることは避けてください。火災、感電の原因となります。 万一、機器から発熱、発煙、異臭、異常音が発生した際は、すぐに電源を切り、担当保安員にご 連絡ください。火災や感電のおそれがあります。 装置を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。 </th>	 AC アダプターの電源コードを傷つけないでください。感電や火災のおそれがあります。 また、電源コードに傷が付いた際には、使用しないでください。 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。 AC アダプターの入力電源は AC100-240V/50-60Hz をご使用ください。 異なる電圧を使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。 本装置および AC アダプターに対して、濡れた手での操作や飲料水などの液体を掛けること、 クリップなどの異物を落下させることは避けてください。火災、感電の原因となります。 万一、機器から発熱、発煙、異臭、異常音が発生した際は、すぐに電源を切り、担当保安員にご 連絡ください。火災や感電のおそれがあります。 装置を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
発 火注意	 電源コードは、ACコンセントに直接接続し、タコ足配線にはしないでください。 タコ足配線にすると、ACコンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。 電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。 また、出力コード(ケーブル)も電源コード同様にプラグ部分を抜いてください。 コード(ケーブル)を引っ張ると断線して火災の原因となることがあります 本装置およびACアダプターを使用する時は、ホットカーペットの上や、使用中の暖房器具の 近くでの使用は避けてください。発熱や火災の原因となることがあります。 電源コードやACアダプターはの上に物を乗せたり、布団の上や布などでくるんだりしないでく ださい。感電や火災の原因となります。
一般禁止	 AC アダプターは専用品以外を使用しないでください。専用品以外を使用すると、電圧、電流容量などの差異によって、本装置を損傷することがあります。 次のような場所には、装置や AC アダプターを短時間でも置かないでください。故障の原因になります。 一窓を閉めきった日の当たる車内等、極端に高温になる場所 一直射日光の当たる場所 一極端に暑い場所、または極端に寒い場所 一ほこりの多い場所 一激しい振動のある場所 一湿気の多い場所、水のかかるおそれのある場所。 本装置の下部(左面、右面、前面)には、放熱用の吸気口が設けられています。吸気口を塞ぐ様な場所や、布、エアパッキン、段ボールの上など放熱を妨げる様な場所に設置しないでください。 本装置に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。 掃除する時には、濡れぞうきんや化学ぞうきん、シンナー等揮発性の薬品類は、故障の原因となりますので、使用しないでください。 清掃の際、清掃用スプレー(可燃性物質を含むもの)を使用しないでください。



表記上の約束ごと

正しく使用していただくために

長期保管方法

保管は、振動・ほこり・高温・低温・多湿・直射日光を避けた場所で行なってください。

掃除の方法

6項の清掃方法を確認し、実施してください。 使用しているマーク

マーク	意味
⇔お願い⇔	注意していただきたいこと、お願いなどが書いてあります。必ずお読みください。
□参考□	参考にしていただきたいことが書いてあります。
〉〉参照先〉〉	参照先を示しています。
丸付き数字(①、②など)	操作手順を示しています。①から順に操作してください。
\triangleright	操作に対する結果を示しています。
\boxtimes	一連の操作が終了したことを示しています。

1 各部の名称および外観図

<本装置全面>



<本装置側面>



<操作部(キーボード部)>

項	名称	用途/備考
1	ファンクションキー	アプリケーションソフトにより設定した
	(F1~F5)	機能が使用できます。
2	[0]キー	本装置の電源を入れる、または電源を切る
	(電源キー)	時に使用します。LED が点灯するまで押し
		続けてください(2 秒程度)。
		※本装置に AC アダプターを接続し、電源
		を入れる際は、通常時より LED が点灯す
		るまでに時間が掛かります(5 秒程度)
3	紙送りキー	ロール紙を紙送りにする際に使用します
4	再印字キー	アプリケーションソフトにより、設定した
5	モードキー	機能が使用できます。
6	訂正キー	
7	リセットキー	<キー点灯色>以下の色にて点灯します。
8	実行キー	ガイダンス時 :橙色
9	セットキー	キーを押した時 : 白色
10	数字キー	数字入力、メニュー項目の選択などに使用
		します。
		<キー点灯色>キーを押した時:白色

※アプリケーションソフトにより点灯/消灯設定が行えます。

No.	名称	用途
FWT	「81A1, FWT82A1 共通	
1	シリアルコネクター	RS232C、D-sub 9pin オス。 暗証 DIN パッドを持続する際
	1	「暗証 PIN ハットを接続する除」に使用します。
2	シリアルコネクター	RS232C、D-sub 9pinメス。
	2	他社製電子マネー決済パッド
		を接続する際に使用します。
3	USB コネクター	USB TypeA。
	× 3	USB 機器を接続する際に使用
		します。
4	有線 LAN コネクター	RJ45
		(10BASE-T/100BASE-TX/1000B
		ASE-T)有線 LAN による通信を
		行う際に使用します。
FWT	82A1 のみ	
5	シリアルコネクター	RS232C、D-sub 9pinオス。
	3	他シリアルインターフェース
		のデバイスを接続するポート
		です。
6	USB コネクター×1	USB TypeA。
		USB 機器を接続する際に使用
		します。
7	HDMI コネクター	HDMI TypeA。
		HDMI 機器を接続する際に使用
		します。

<本装置カバー裏面>

DUMP スイッチ 装置を強制的に終了し、異常時の状態取得/ 再起動を行う際に使用します。 ※通常は使用しないでください。

<本装置開口部>

2 最初に行う作業(セットアップ)

工場出荷後、初めて本装置の電源を入れると、Windows(以降、OS)が起動され、その後、セットアップが実行されます。電源の入/切方法については以下をご参照ください。

≫参照先≫「3.1 電源を入れるには/切るには」

表示されるセットアップ画面の指示に従い、本装置の初期設定を行ってください。

①0S、およびソフトウェアのライセンス条項確認画面が表示されます。 内容をご一読のうえ、「実行」キーを押して、使用許諾に同意してください。

使用許諾権お客様へ
富士通フロンテック株式会社(以下弊社といいま す)では、本製品にインストールされているソフト ウェア(以下、本ソフトウェアといいます)をご使 用いただく権利をお客様に許諾するにあたり、下記 「ご使用条件」ご同意いただくことをご使用の条件
とさせていただいておりますので、本ソフトウェア を使用またはインストールする前に、必ず下記「ご 使用条件」をお読みください。

②OSの初期セットアップが開始されます。

最初にサインインパスワードの変更要求画面が表示されます。 「OK」が選択(白い枠)されていることを確認し、「実行」キーを押してください。

admin サインインする前にユーザーのパスワードを変更する必要があります。	
ок キャンセル	

③管理者権限ユーザーのパスワード変更が必要となります。

以下の画面パスワード入力画面が表示されますので、「新しいパスワード」としてお客様の サインインパスワードを新規に入力してください。

□参考□

- ●パスワード変更画面が表示された場合、最初の入力フィールドは、「新しいパスワード」に移動しています。そのまま、新しいパスワードを入力してください。
- ※現在のパスワードは入力不要です。工場出荷時には、デフォルトの管理者権限ユーザーを「admin」、 パスワードを未設定の状態で登録しています。現在のパスワードを空白以外に指定した場合、 パスワード変更ができません。
- ●入力フィールドの移動は、「モード」キーを押しながら、「再印字」キーを押すことで遷移することができます。(TAB キー押した場合と同じ動作となります) 入力フィールドを次に移動する場合は、本キー操作にて移動させてください。
- ④「新しいパスワード」を入力後、「モード」+「再印字」キーを押します。
 「パスワードの確認入力」に移動しますので、先程入力したパスワードをもう一度入力してください。
 入力したら、「実行」キーを押して、パスワード変更登録してください。
 ⑤パスワード変更画面が表示されます。
- 「モード」+「再印字」キーを押して、「OK」ボタンを選択(白い枠)状態にした後、 「実行」キーを押してください。

⑥OS へのサインイン画面が表示されますので、「サインイン」を選択し、サインインしてください。

⑦工場出荷時の「admin」ユーザーで最初にサインインすると、OSのセットアップが開始されます。 セットアップが完了するまで、そのままお待ちください。

 ⑧セットアップが完了すると、デスクトップ画面が表示されますので、アプリケーションの セットアップを行ってください。

●OSのセットアップ中は、電源を切ったり、ACアダプターを引き抜いたりしないでください。装置のデータが破損し、起動できなくなる可能性があります。

- ●セキュリティ保護のため、作成したアカウントのパスワードは、必ず他人に推測されにくい複数桁を指定してください。また、作成したパスワードは他人に公開しないでください。
- ●工場出荷時には、デフォルトの管理者権限ユーザーとして「admin」ユーザーが登録されています。 お客様の運用環境に応じて、ユーザーの変更・追加等を行ってください。
- ●工場出荷時には、デフォルトとしてコンピュータ名が「CAT」に設定されています。 お客様の運用環境に応じて、コンピュータ名の変更等を行ってください。

3 本装置の使用方法

3.1 電源を入れるには/切るには

3.1.1 電源を入れるには

本装置を梱包箱から取り出した後、装置に AC アダプターを接続し、[0]キーを LED が点灯するまで押し続けて ください(5 秒程度)。操作部の LED が点灯した後、画面が表示されます。

※AC アダプター(電源)を接続していない状態から AC アダプターを接続し、電源を入れる際は、通常時より LED が点灯するまでに時間が掛かります。通常時は[0]キーを押してから 2 秒程度で LED 点灯が点灯し、電源が入ります。

● AC アダプターを接続する場合は、奥に突き当たるまでプラグを差し込んでください。 プラグが完全に挿されていない場合、使用時に振動などにより、本体との接続が不安定になり、 電源が切れる場合があります。

3.1.2 電源を切るには <<重要>>

電源が入っている状態で、[0]キーを LED が点灯するまで押し続けてください(2 秒程度)。

▶キーボード LED が点灯した後は[①]キーを離してください。電源が自動的にオフされます。

<<重要>>>
●本装置の動作中(※)は電源を切らないでください。次回、OS が正常に起動しなくなる場合があります。
※起動処理中、終了処理中、データのバックアップや復元中、砂時計のアイコンが表示中等。
●装置から AC アダプターを抜く場合は、必ず本装置の電源を切ってから、作業を行ってください。
装置が起動している状態で AC アダプターを抜くとデータが破壊される場合があります。
●[Ů]キーを押してキーLED が点灯した後は、速やかに[Ů]キーを離してください。
そのまま押し続けた場合、電源が強制的に切られ、データ等が正しく保存されず、次回動作に支障をきたす
場合があります。
●本装置の[∪]キーを押した場合の設定が「何もしない」(電源を切らない)に設定されている場合でも、
(約 10 秒間) そのまま[∪] キーを押し続けた場合は、装置の強制シャットダウン動作となり、データ等が
正しく保存されず、次回動作に支障をきたす場合があります。[①]キーが2秒以上押された場合には、
キーLED が点滅しますので、その際は速やかに[🕛]キーを離してください。
●本装置はスリープ動作には対応しておりません。

□参考□

●アプリケーションによって[0]キーを無効にしている場合があります。この場合、アプリケーションの 指示に従って電源を切ってください。

3.2 バックアップ電池の状態を確認するには

バックアップ電池の状態を確認する場合の操作です。電源が入っている状態で[モード]キーを押しながら[F5] キーを押すことで[システム情報メニュー]ウィンドウが表示されます。

3.3 音量を調節するには

[モード]キーを押しながら[F5]キーを押し、[システム情報メニュー]ウィンドウを表示させ、[2]キーを押し、 [2. 音量とバックライト輝度の設定を行います]を選択します。

音量の設定 2.<< 9.>> ブ、ックライト輝度の設定 1.<< 3.>> 1.<< 8 [リセット]キー:終了	〈表記の説明〉 「音量の設定]でスピーカー音量を調整できます。 ・左から音量は6段階となっております。 [7]キーを1回押すことで、音量が1段小さく、 [9]キーで1段大きく設定できます。 ・[リセット]キーで操作を終了できます。
---	---

3.4 バックライトの明るさを調節するには

<キー操作のみで行う方法>

・輝度を明るくする場合

[モード]キーを押しながら[F4]キーを押すことによって段階的に輝度を明るくできます。

・輝度を暗くする場合

[モード]キーを押しながら[F3]キーを押すことによって段階的に輝度を暗くできます。

<システム画面から行う方法>

[モード]キーを押しながら[F5]キーを押し、[システム情報メニュー]ウィンドウを表示させ、[2]キーを押し、 [2. 音量とバックライト輝度の設定を行います]を選択します。

・ [リセット]キーで操作を終了できます。

本装置が正しく動作しない時に使用します。 〈カバー裏面〉

[操作手順]

①可能であれば、作業中のデータを保存します。
 ②操作部カバーを開け、DUMP スイッチをペン等で
 1 秒以上押します。
 ③画面が青色となりカウントアップが始まります。

カウントが100%となった時点で、再起動します。 図操作終了です。

●動作しない等の問題が生じていない場合は、DUMP スイッチを使用しないでください。 メモリの内容や設定情報が消える場合があります。

4 有線 LAN について

本装置は 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の有線 LAN 通信に対応しています。 LAN の LED 表示について説明します。

LED の表示		説明
色	表示の仕方	
橙	点灯	Link 状態
緑	点滅	通信中

●LAN コネクターに指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。 ●LAN コネクターからケーブルを取り外す時は、ケーブルのプラグ部にあるツメを押さえながら引き抜い てください。

●1000Base-T で通信を行う場合、Category 5e 以上の LAN ケーブルをご使用ください。

5 プリンターの使用方法

ご使用のロール紙がなくなった時は、以下の手順に従い、ロール紙を交換してください。 ①プリンター開閉レバーを上に引き、操作部カバーを持ち上げてください。

②ロール紙をロール紙収納スペースに入れ、ロール紙ガイドに合わせ用紙端を手前に引出しカバーを 閉じてください。ロール紙は写真のように印字面が下になるようにセットしてください。

▲
注意

- ●操作部カバーを閉める際は、カバーに手を添えて、ロックされるまでしっかり閉めてください。 カバーを押してもロックされない場合は、一旦カバーから手を離してから再度カバーを押してロック してください(ロックされない状態で無理にカバーを閉めると、プリンター故障の原因になります)。
 ●操作部カバーを開けている状態では、紙送りキーが橙色に点灯します。
- 操作部カバーを閉める事により、紙送りキーは消灯します。
- ●操作部カバーを閉めた際に画面が約1秒消灯し再度点灯します。 本動作は、ロール紙交換時、ロール紙に帯電した静電気等で画面に乱れが生じる可能性があるため、 画面のリフレッシュを行う動作となります。

6 本装置の清掃

清掃は、必ず電源を切った後に行ってください。

6.1 本装置カバー/表示部

●本装置のカバー部は、中性洗剤を薄めた水溶液に浸し固く絞った布、または乾いた布で拭いてください。 ただし、水溶液を使用する場合には、布を固く絞らないと、水溶液が装置内部に入り込み、故障の原因となる ことがあります。

なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので本装置を拭かないでください。変色したり、文字が消えたり することがあります。

●本装置の表示部は、水に浸して固く絞った布、または織り目の非常に細かい眼鏡拭きで拭いてください。

6.2 プリンター部(固定部/可動部)

●ロール紙交換時の清掃について

ロール紙交換時は、操作部カバーを開ける前にほこり、砂等の異物を払い落としてください。プリンター部 の歯車部分にほこり、砂等の異物が入りますと、印字及び動作に不具合が発生する可能性があります。また、 用紙センサーに、用紙の破片やゴミなどが詰まっていないかご確認ください。用紙の紙片やゴミなどがある 場合には、印字および動作に不具合が発生する場合があります。

<プリンター固定部>

用紙センサー

●プリンター部の定期清掃について ロール紙交換時とは別に1週間に1回の割合で行ってください。 (または用紙印刷ができない場合(プリンターエラー発生時)に行ってください)

(1) プリンター可動部(プラテン)

①操作部カバーを開けてください(「5 プリンター使用方法」を参照)。

②軟質のナイロンブラシで歯車部分に付着しているほこり、砂等の異物を払い落としてください。 <軟質ブラシ:バニロンブラシ No.2/No.3相当品>

- ③乾いた綿棒で、プラテンを回しながらゴムローラを清掃してください。
- (2) プリンター固定部(本体部)

①操作部カバーを開けてください(「5 プリンター使用方法」を参照)。

②軟質のナイロンブラシでプリンター全体を掃除してください。特に歯車部分に付着している

ほこり・砂等の異物を払い落としてください。<軟質ブラシ:バニロンブラシ No.2/No.3相当品> ③下図に示すように、サーマルヘッドの清掃はエチルアルコールまたはイソプロピルアルコールを浸し

た綿棒でヘッド発熱体部の汚れを拭き取ってください。 ④アルコールが完全に揮発した後、カバーを閉めてください。

●用紙センサーの清掃

用紙の有無を判別するセンサーに紙粉等が付着すると、印刷できない(プリンターエラー表示がされる)
 場合があります。その場合は、下記手順に従い、センサーを清掃してください。
 ①操作部カバーを開けてください(「5 プリンター使用方法」を参照)。
 ②乾いた綿棒等でセンサー内部を軽く拭き取ってください。
 ③その後、用紙をセットし動作確認を行ってください。

注意

- ●ロール紙は、ロール紙、サーマルヘッド面、用紙検出センターの砂、ほこりなどの異物を取り除いてから 交換してください。異物が本装置内に入りますとプリンターが正常に動作しなくなったり、本装置の故障の 原因となりますのでご注意願います。
- ●手前に引き出したロール紙の用紙端を、ロール紙ガイドの内側に入るようにセットしてください。 ロール紙ガイドよりはみだすと、紙詰まりの原因となります。
- ●操作部カバーを開ける際は、最後までしっかりと開けてください。途中でカバーから手を離すと、 開いた状態で固定されずに閉まっていきます。
- ●プリンター印字中に[紙送り]キーを押したり、用紙を手などで引っ張たりしないでください。 正しく印字されなかったり、印字品質に悪影響を及ぼす原因になります。
- ●サプライ品のロール紙をご使用願います。推奨用紙以外を使用すると、印字品質、寿命などで不具合が 発生する恐れがありますので、ご使用前には充分ご確認をお願いします。
- ●サーマルヘッドの清掃は装置の電源を必ず切り、サーマルヘッドが充分冷めていることを確認してから行ってください。火傷の恐れがあります。
- ●サーマルヘッドは印字に伴い高温になります。直接手を触れないでください。停止後も直ぐには 放熱しませんので触れると火傷の恐れがあります。
- ●サーマルヘッド表面は素手で触らないでください。発熱体部に手の脂などが付着すると、サーマルヘッドの寿命が短くなる恐れがあります。万一、油脂や異物が付着した場合は直ちに清掃を行ってください。 また、ドライバーなど硬いものを当てないようにご注意ください。
- ●サーマルヘッド又は用紙が、結露などにより濡れた状態で電源を入れると、サーマルヘッドが損傷する場合があります。以下の項目に注意してご使用ください。
 *濡れた用紙での印字は行わないでください。
 *結露の可能性のある環境下では、装置を使用しないでください。
 *結露した時は直ちに装置の電源を切り、完全に乾燥した後に再度ご使用ください。
- ●印刷直後はサーマルヘッド及びプリンター周辺が高温になっていますので、プリンターが冷めるまで清掃は行わないでください。
- ●サンドペーパー、カッターナイフ等、サーマルヘッドを破損する恐れがあるものを使用して清掃は絶対に行わないでください。また、サーマルヘッドに無理な力を加えないでください。
- ●開口部(用紙挿入、排出口)から内部には金属、燃えやすい物を入れないでください。 火災、感電の恐れがあります。
- ●可動刃及び固定刃は素手で触らないでください。又、ドライバーなど硬いものを当てないようにご注意ください。用紙カット特性に影響がでる場合があります。

7 磁気カードリーダーの使用方法

①磁気カードの読み取りを行う際は、磁気カードリーダーの磁気カード挿入部(溝が広い部分)に磁気カードを が磁気カードリーダーから離れないように、押し当ててください。

②磁気カードが磁気カードリーダーを完全に通過するまで、一定の速度で磁気カードリーダーの溝に沿って 平行に操作してください。

ように溝に沿って平行に操作する

A private de la constant de la co

●EAS (Electronic Article Surveillance) に関する注意事項

本装置周辺に、EAS(万引き防止システム等)や、テレビ・ラジオ・無線機・携帯電話・IH機器などの磁界を 発生させる機器が設置されている場合、電磁波の影響で、磁気カードが読み取れない場合があります。この様な 場合は、本装置を磁界を発生させる機器から離して、ご使用ください。

●磁気カードリーダーの清掃

磁気カードリーダーは使用するにつれて、ゴミ、ほこりなどで汚れていきます。添付のクリーニングカードに より清掃を行ってください。

-清掃周期:1ヶ月毎またはエラーが多発する時に行ってください。

-清掃方法:クリーニングカードのざらざらしている面(クリーニング面)を左にして、磁気カード 読み取り操作と同じ操作を行うことで清掃をしてください。

その後、同様にざらざらしている面を右にして清掃をしてください。

- -交換周期:クリーニングカードが汚れた場合、新しいクリーニングカード(サプライ品・有償) と交換してください。
- なお、清掃してもエラーが発生する場合は担当保守員までご連絡ください。

●誤動作を防止するため、清掃時は電源を切ってください。

8 USB コネクターカバーの取り付け方

●コネクターカバーの取り付け

USB ケーブルの抜けを防止するために、USB コネクターカバーを本装置に添付しています。 必要に応じて、以下取り付け方法にて USB 周辺機器に取り付けを行ってください。

①USB コネクターカバーの両面テープを剥がします。

②USB コネクターに対して、USB マーク(※)が表示されている面に本カバーを取り付けてください。 取り付けの際は USB コネクターの角とコネクターカバーの角を合わせてください。

USB コネクター/コネクターカバーの角

<取り付けイメージ図>

〈取り付け状態〉

- ●本装置への取り付け/取り外し(USB カバー取り付け時)
 - ・本装置への取り付け :通常の USB コネクターと同様に装置へ挿入してください。
 - ・本装置へからの取り外し:以下写真の様に丸枠部分を指で押しながら、ケーブルを抜いてください。 <USB ケーブル挿入状態>

9 セキュリティスロットの使い方

本装置には盗難防止ワイヤーを取付けるセキュリティスロットを設けています。ご使用になる場合は下記内容をご確認ください。

本装置の 🚺 マークが描かれたシールを剥がし、セキュリティスロットを出し、盗難防止ワイヤーを取り付け てください。

セキュリティスロット

〈取り付け例〉

10 設置条件

項目		本体	設置時の注意
外形寸法	幅	103	本装置周囲には、10cm以上のスペースを設け、磁気カード読み取り
(mm)	奥行	152	操作の妨げになる物を置かないこと。
		167	·
		(プリンターカバー	各方向に10cm以上のスペースを設ける。
		全開時)	
	高さ	110	
		230	
		(プリンターカバー	
		全開時)	
番 帯(𝔤)		上/men/ 約1kg	_
<u>王里(6/</u> 消費雷力(W	0	ΔC. アダプター	
///1.100/11/11		・ 雪力 · 00W	电源アップに、不及直の电源コンビン「と接航」の場合は、事前に 以下の確認を行うこと
			① 電道々ップに接続 た今ての装置の雷流値の合計が 電道
		(八刀電圧)	「电源アリアに接続した主ての表面の电流値の日前が、电源
		_国波数·50/60Hz	⑦雲酒々ップの連動機能(*)により タップからの雲酒供給が
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	②电源メリノの建動版化 (*) により、メリノがらの电源に相が 「停止」 たいっいわいトロに接続すること
		- フラクルれ 、	「アエしないコノビノドロに接続すること。
			(*)他の ((なの 电 塚 仏 怒 に よ り、 电 塚 ダ ワ ノ か ら の 电 塚 供 和 を 問 仏 / 庐 止 オ ス 雌 能
	動作吐	0 10	AUTプノブーは、唯夫に左し込の振動寺じ扱りない惊にりること。 - 田純た降ノ
設直余件	割作時	0~40	* 枳衣を味く - 田田沮由たとばて油田四目たじのたくに乳空したいこと
	非動作時	-20~60	・周囲温度を上げる調理奋具などの近くに設直しないこと。
設直条件	動作時	20~85	・結路のないこと。
(湿度%)	非動作時	8~95	
振動(G)	動作時	0.4以下	—
		1.0以下	_
塵芥(g/mPP	'P ^{3P})重量濃	0.1以下	—
度、ステアリン酸基準			
設置場所		—	誤って本装置を落下させないよう、平らな場所に設置してくださ
			い。また、カウンターの端等に設置しないようご注意ください。
			[良い例] [悪い例(落下の危険あり)]
			カウンター カウンター
			※カウンター端から遠ざける
			EAS(万引き防止システム等)や、テレビ・ラジオ・無線機・携帯
			雷話・III 機器などの本装置を磁界を発生させる機器から離して、
			ご使用ください。>>参昭先>>「7 磁気カードリーダーの使用方法」
			本表世の下部(左面、右面、前面)には、欣怒用の吸気口が設け
			られています。吸気口を塞く様な場所や、布、エアハッキン、段
			ホールの上など放烈を妨ける様な場所に設直しないでくたさい。
			〈本装置全面〉 〈本装置左側面〉 〈本装置右側面〉
			吸気口

11 故障かなと思ったら

本装置を使用中に、次のような症状が出たら、担当保守員に連絡する前に、対処方法をご確認ください。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。	AC アダプターのプラグが本装	AC アダプターのプラグが正しく接続されてい
	置に正しく入っていない可能	るかご確認ください。奥に突き当たるまで確実
	性があります。	にプラグを差し込んでください。
	[①]キーを長押しする時間が	キーボードの LED が点灯するまで [①] キーを
	短い可能性があります。	押し続け、LED 点灯後にキーを離してください。
		※AC アダブター(電源)を接続していない状態
		からAUアタノターを接続し、電源を入れる除 は、予労時トリーFDがよれまでまでに時間が
		は、通常時より LED か点灯 するまでに時間が 掛かります (5 秒程度)。
電源がオフできない。	アプリケーション、または OS	DUMP スイッチを押してください。
	が動作不可状態になっている	画面が青色となりカウントアップが始まりま
	可能性かあります。	す。カワントか 100%となった時点で、冉起動
		しまり。 DIMD スイッチで復旧したい担合
		DUMP スイッナで復旧しない場合、 大壮業の[小] キー た約 10 孙門畑」 結けてくだ
		本表直の[0] イーを約10秒間押し続けてくた さい 木奘署の強制シャットダウンにとり電源
		をおってることができます。
本装置の電源が勝手に切れる	高温環境下において高負荷状	0~40℃環境でご使用ください。
(シャットダウンする)。	態で本装置を動作させたこと	
	により、本装置内部温度が上が	
	り保護機能が作動した可能性	
	があります。	
スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量設定が「小	スピーカーの音量設定をご確認ください。
	(または 0)」に設定されている	
	可能性かあります。	13.3 音重を調節するには」
画面が暗く、表示が見えない。	画面のバックライトの輝度が	バックライトの明るさを調整してください。
	低い値で設定されている可能 性があります	// ◇ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦
磁気カードが読み取れない。	磁気カードリーダーの磁気へ	クリーニングカードで清掃してください。
	ッドが汚れている可能性があ	>>参照先>>「7磁気カードリーダーの使用方法」
	ります。	
	周囲に磁界を発生させる機器	本装置を磁界を発生させる機器から離して、ご
	が設置されている可能性があ	使用ください。
	ります。	>>参照先>>「7 磁気カードリーダーの使用方法」
	磁気カードの磁気が劣化して	他の本装置で読み取りが可能か、ご確認くださ
	いる可能性があります。	い。
印字ができない。	ロール紙が正しくセットされ	正しくセットし直してください。
	ていない可能性があります。	>>参照先>>「5 プリンター使用方法」
	用紙センサーに用紙の破片や	用紙センサーの用紙の破片やゴミを取り除く
	ゴミが詰まったり、汚れたりし	ように清掃してください。
	ている可能性があります。	>>参照先>>「6本装置の清掃」
	連続動作でフリンターヘッド	しはらく時間をおいてから印字を行ってくだ
	か温度上昇により動作停止し	さ い。
	しいるり能性がめります。	オプション機聖な大壮聖など。 座西 ロタレース
按 祝 し に イ ノ ン ヨ ノ 俄 奋 か 期 作 た い	平衣 唱に 止しく 按枕 されしい	オ ノンヨン () () () () () () () () () (
	いない可能性があります	いほ母反接続しててたてい。 また、本装置を再記動してから、オプション機
		器を接続してください。

12 付録

A 仕様

項目		仕様			
		FWT81A1	FWT82A1		
	OS	Microsoft ® Windows10 IoT Enterprise 2016 LTSB (64bit)			
生山 佐田 立7	CPU	Intel® Atom x5-Z8550 1.44GHz (4Cc	pre/4thread)		
前仰部	メモリ/ストレージ	4GB(LP-DDR3) / 64GB (eMMC)			
表示部		3.2インチ 高輝度 LED バックライト TFT カラーLCD 横 800 ドット×縦 480 ドット			
操作部		紙送りキー、再印字キー、モードキー、訂正キー、リセットキー、実行キー、セットキー、F1~F5 キー、0~9 キー、00 キー、000 キー、[0]キー			
ガイダンス(橙色)		紙送りキー、再印字キー、モードキー、訂正キー、リセットキー、			
+-	キー(個別発光可)	実行キー、セットキー			
LED	照光(白色)キー	紙送りキー、再印字キー、モードキー、訂正キー、リセットキー、実行キ			
	(個別発光不可)	ー、セットキー、0~9キー、00キー、000キー			
オーディオ		スピーカー×1			
磁気カードリーダー		JIS I(ISO1/2), JISⅢ			
通信	有線 LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (Au	ıto MDIX 対応)		
		サーマルラインプリンター			
プリンター		用紙幅:58mm			
		印字速度:200mm/sec(Max)			
		カット:パーシャルカット(中央1点残しカット)/フルカット			
		ロール紙:Φ60mm			
外部インターフェース		$RS-232C \times 2 \pi - F (D-sub 9pin)$	RS-232C × 3 π \rightarrow h (D-sub 9pin)		
		USB2.0×3ボート (Type-A)	USB2.0×4ボート (Type-A)		
			HDMI×Iホート		
電源		AC 100V±10V、50HZ/60HZ 吉ト亜印字味(約.79W) / 法機味(約.4.9W) / シュール ビウンは(約.6.01W)			
(専用 AC アダフター)		元上宗印子呀(約 / 2₩) / 付機時(約 4. 8₩) / ンヤツトタワン時(約 0.01₩) 演用時 . 040% c (結電 たし)			
理接	温度	理用時:0~40℃(結露なし) 保存時・			
		休行時, -20~000(和路なし) 演田時, 20~25%(結霊た))			
ᄴᄪ	湿度	保存時: 8~95%(結露なし)			
	外形寸法	103mm (W) × 152mm (D) × 110mm (H) (突起部を除く)			
		約 1.0 kg			

B 添付品

添付品	添付数量		
	FWT81A1	FWT82A1	
USB コネクターカバー	3個	4 個	
クリーニングカード※1	1枚		
AC アダプター	1個		
電源コード	1本		
Quick Reference Guide	1枚		
保証書	1枚		

※クリーニングカード(商品名:磁気カードリーダークリーニングカード)は、サプライ品として個別に 購入することができます。

C オプション

品名	型名	仕様概要
暗証キーパッド	F7518PDx	本装置の RS232C コネクター1 に接続する
		暗証入力ピンパッド
タッチスキャナ	FP7PTS18	本装置の USB コネクターに接続する
		バーコード読み取りタッチスキャナ
IC 決済パッド	F7518CP1x	本装置の USB コネクターに接続する
		IC 決済パッド
セキュリティ対策ソフト	FWT8C11	ホワイトリスト式セキュリティソフト
		(インストール CD)
		対応 OS:Windows 10 IoT Enterprise(64bit)用
セキュリティ対策ソフト	FWT8011	ホワイトリスト式セキュリティソフト 使用権
(使用権)		(媒体なし)
		対応 OS:Windows 10 IoT Enterprise(64bit)用

D サプライ品

サプライ品は富士通コワーコ株式会社より購入可能な本装置に合った純正品をご利用ください。 純正品以外の物を使用すると、部品寿命を早めたり、故障の原因となることがあります。

品名	商品番号	出荷単位	備考
磁気カードリーダークリーニングカード※	0631312	1組	片面タイプ
			10 枚/組
磁気カードリーダークリーニングカード※	0631321	1組	両面タイプ
			2枚/組
サーマルロール紙	0722680	10 ロール	高感度用紙
			58mm × ϕ 60mm
サーマルロール紙	0722660	10 ロール	高感度用紙
			58mm × ϕ 48mm
サーマルロール紙	0722665	10 ロール	高保存用紙
			58mm × ϕ 48mm
サーマルロール紙	0722685	10 ロール	高保存用紙
			58 mm $\times \phi$ 60 mm

※磁気カードリーダーに使用できる磁気ヘッド清掃用のクリーニングカードです。

FUJITSU Retail Solution TeamCAT/mini V3 取扱説明書

2017 年 7 月初版発行 All Rights Reserved, Copyright ◎ 富士通フロンテック株式会社 2017

・本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります

・本書を無断で他に転載しないようにお願いします

・落丁、乱丁はお取り替え致します

・本書は、再生紙を使用しています。